

会員各位

第3回 日本獣医がん学会獣医腫瘍科認定医認定委員会 議事録

日時：2010年7月10日(土) 12時20分～13時20分

場所：麻布大学8号館6階 第8604講義室

出席者(順不同、敬称略)

石田、信田、藤田、小林、佐藤、生川、武田、堀、牛尾、児玉(和)、児玉(恵)、長田、林、遠藤、北澤、井上、成田、水上、高平、入江、圓尾、杉山、古川、今井、中嶋、三宅、保坂、林宝(合計28名)

委任者(順不同、敬称略)：川村、代田(合計2名)

議長：石田卓夫(学会役職：副会長、獣医腫瘍科認定委員会委員長)

書記：林 光児(学会役職：評議員) 北澤由紀子(学会役職：評議員)

下記のとおりご報告申し上げます。

1. 報告事項

(1) 1種二次試験実施要項(武田)

試験実施日：2010年10月3日(日)

受験者数：16名

試験方法：4試験室で行い、計4題、試験官8名

(2) 1種一次試験実施要項(堀)

第8回1種一次試験結果報告

実施日：2009年1月25日

受験資格者：現在150名

出願者30名、受験者29名

合格者7名

第1回日本獣医がん研究会1種一次試験実施要項

実施日：2010年7月11日

出願者23名

合格ライン：各問題で平均点を割った場合は不合格。常識問題ミスについても不合格

(3) 2種試験実施要項(長田)

実施日時：2010年7月11日

変更事項

2会場から3会場に変更

問題形式は変更し、受験者には周知済み

(4) 2009年度会計報告(堀)

収入の部：2種試験が実施されなかったため、受験料の収入分減額

支出の部：手帳印刷のため印刷費が増額

(5) 2010年度会計予算案(堀)

収入の部：本会より 200 万円割り当て、明日の総会で審議

支出の部：試験会場が増えるため人件費を多く設定した

前年度は試験の実施がなく今までのように収入支出のバランスがとれなかったため、本会から支出とし、認定委員会と本会は独立採算の限りではない（信田）

2. 審議事項

(1) JVCS 獣医腫瘍科認定医更新条件案（石田）

更新条件案

レフェリー付き学会論文の投稿を義務とする

投稿論文は諸条件によって点数制とする

病理認定医など以前からある認定医制度を参考にし、細かい規定は小委員会を結成して案をまとめる予定

小委員会の設立は認定委員会の執行部に任せる

更新条件案承認の流れ

小委員会で案をまとめた後、認定委員会で再承認、理事会、総会での承認を経て正式に更新条件とする

更新条件案に付随した課題について

論文作成の指導方法は、今後小委員会内で検討し、案をまとめた後に認定委員会で承認する
第一執筆者以下でも、論文執筆が点数となるように例外規定を作成予定

更新条件が点数制の場合、学会出席や発表で点数が規定数となっても更新を認めず、論文執筆は必須条件とする

認定委員会内でのアンケート集計結果で、更新条件に学会誌への論文投稿を義務化することは条件付きを含め反対意見が過半数以上であった。反対意見については、必要あれば認定委員全員に公開する

結論：以上の議論の結果、更新条件に論文執筆を課すことについて、全員賛成で可決

(2) 獣医臨床腫瘍学テキスト（仮称）企画書（石田）

テキスト出版企画：日本獣医がん学会獣医腫瘍科認定医認定試験のガイドラインとなるテキストとして企画

臨床部会での内科部会、外科部会でも認定医試験のガイドライン作成検討中

今回のテキストは認定委員会が総括し、各学術部会と話し合い作成

原稿料は著者に還付

執筆者の選定

教育講演担当者を中心に依頼

まずチャプター責任者を決める

監修者は石田、信田、藤田

この3者で話し合いどのように進めるか協議している

結論：本企画は以前からあり、現在の状況なら執筆可能と判断し獣医臨床テキストの執筆出版は決定期限があるため早急に執筆者選定、依頼を行う

3. その他

特になし

以上